

# 足尾 たいけん 体験植樹ガイド



国土交通省 渡良瀬川河川事務所



# 体験植樹に参加して、 環境や砂防について学ぼう！

国土交通省 渡良瀬川河川事務所では、平成5年度より日光市足尾町で体験植樹を実施しています。この体験植樹は、環境学習支援の一環として行われており、ご参加いただいたみなさんに、この体験を通して、環境の大切さや砂防事業の重要性について理解を深めていただくことを目的としています。

## 体験植樹の背景

### 足尾の緑が消えた理由

足尾町は、かつて銅山の町として栄えました。最盛期には日本の銅の4割を生産し、栃木県では宇都宮に次ぐ大きな町でした。しかし、その繁栄の影で、足尾の山々は荒廃していったのです。坑木の伐採や相次ぐ山火事、製錬所から排出される亜硫酸ガスによる煙害などが、主な原因でした。荒れ果て、脆くなった山々は、渡良瀬川に土砂災害や下流域への洪水などの被害をもたらす一因となったのです。



昭和13年の足尾の山

### 植樹と砂防の深い関係

土砂災害を防ぐための対策として、渡良瀬川の上流域では、さまざまな砂防事業が行われてきました。昭和29年に完成した足尾砂防堰堤は、500万 $m^3$ (東京ドーム約4杯分)の土砂を貯めることができ、下流域への土砂災害の被害を軽減する大切な役割を担っています。また、荒廃し崩れやすくなった足尾の山々には、山腹工(基盤整備)が実施されています。植樹が行われる場所も、安全面を考慮し、山腹工を施された場所が選ばれているのです。さらに、みなさんが体験される植樹は、植えた苗木が大きく育ち、根を張ることで山肌を崩れにくくするという、砂防事業としての一面を担っています。



山腹工(基盤整備)の様子

## NPO法人「足尾に緑を育てる会」との連携

足尾の山に緑を取り戻そうとする動きは、大きな広がりを見せています。NPO法人「足尾に緑を育てる会」では、「足尾の山に100万本の木を植えよう!!」を合言葉に、毎年「春の植樹デー」と題して、大規模な植樹活動を展開しています。

平成29年は2日間で1,950人の方が参加し7,500本の苗木が植樹されました。国土交通省では、基盤整備が完了している山腹を、植樹場所として提供するなど、さまざまな形で連携を図っています。こうした官民一体となった活動は、大変注目を集めています。

1996年5月にはじめて植樹を実施して以来、植樹活動の輪が広がり、おかげさまで参加者、植樹本数とも年々増えています。

私たちは、活動を継続していくことが重要だと考えています。特に未来を担う若い世代や子どもたちには、積極的に活動に参加していただき、私たちの思いを受け継いでいってほしいと願っています。

足尾に緑を育てる会



# 体験植樹の流れ

体験植樹が実施される場所は、渡良瀬川の最上流域に位置し、気候、地形ともに大変厳しい場所です。安全に楽しく植樹を体験していただくために、体験植樹の流れ、体験植樹に必要なもの、注意事項等をよくご理解いただいた上でご参加ください。体験植樹は、全工程で約1時間半程度かかります。

はじめに、オリエンテーション(30分程度)を行います。



## スタート

作業道具を運んで、  
いよいよ植樹スタート!



1. 国土交通省職員からの挨拶



2. 紙芝居による足尾の歴史や砂防事業の説明



3. 植樹の作業手順の説明

## 穴掘り

# 1



直径約70cm、  
深さ約50cmの穴を掘ります。



くろつち ふようど たいひ  
穴の中に、黒土、腐葉土、堆肥を入れます。

## 苗木設置

# 2



ワイヤーで添え木同士を固定します。



苗木が倒れないよう、  
添え木を3本打ち込みます。

## 4 柵づくり

# 4



ネットを設置する前に、  
記念撮影を行います。



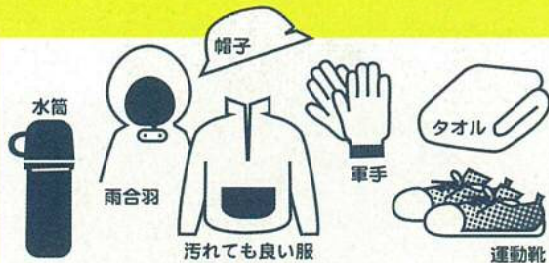
シカ除けネット  
(食害防止ネット)を設置します。

## 5 ネームプレート設置

# 5



## 体験植樹に必要なもの



参加者各自で用意するもの



国土交通省で用意するもの

## オリジナルネームプレートをつくらう!

植樹した苗木には、オリジナルのネームプレートを設置することができます。

●▲■小学校  
200X.10.28  
大きくなあれ

- ネームプレートの設置を希望される場合は、当日ご持参ください。
- 大きさは、最大でA4版までとなります。
- 団体名・実施日・メッセージなど、自由に書き込んでください。

## 作業時の注意事項

- 1 作業等は、各自の責任のもと行っていただきますので、十分ご注意ください。
- 2 体験植樹が可能な場所には限りがありますので、用意する苗木は約10名につき1~2本となります。
- 3 樹種は、マユミ、ナナカマド、ハナミズキなどの中から、時期に合わせて任意に選ばせていただきます。
- 4 当日は、現地スタッフが対応いたします。



土を踏み固めて苗床をつくります。



幹を傷めないよう気をつけながら、苗床に苗木を設置します。



黒土、腐葉土を根株の周りに入れて、スコップ等で平らになります。



堤防を補強したあと、バケツ1杯分の水を入れます。洗んだ箇所を黒土で埋めてひとまず完成です。



掘り出した石や土を使って堤防をつくり、その中にバケツ2杯分の水を入れます。

## 3 水やり



ネームプレートを持参された方は、植えた苗木に取り付けます。

## 作業終了!

使った道具を片付けて、作業終了です。



終了の挨拶  
最後に、ご参加いただいたみなさんに、感想や質問などを伺います。



# 現在まで14万人が 体験植樹に参加！

平成5年度から始まった体験植樹は、年々参加者数が増加しています。平成28年度迄に、体験植樹として2,200団体145,000名の方にご参加いただきました。

多くの皆様のご尽力により、徐々に緑を取り戻してきた足尾の山々。現在、荒廃した山腹の約50%まで緑が回復したとも言われています。皆様が植えられる一本一本の苗木が、やがて大きく育ち、足尾の山を緑豊かな未来への姿へと再生させていくのです。

体験植樹参加人数



昭和62年の大畑沢



平成28年の大畑沢

僕たちが植えた木が大きくなり、洪水や土砂崩れを防ぐ働きををすると思うと、とてもうれしいです。

小学校6年生 男子

植えた木が、大きくなるのが楽しみです。

小学校6年生 女子

家族や友達にも、自然の大切さを教えてあげたいと思います。

小学校6年生 女子

## 参加者の声

みなさんの感想や意見を反映し、より充実した体験植樹とするために、ご参加いただいたみなさんには、後日アンケートや感想文を書いていただいています。

ここで、その一部をご紹介します。

私たちが植えたマユミとナナカマドが、足尾のためにも元気に大きく育ってほしいと思います。

小学校6年生 女子

まだまだたくさんの緑を増やして行ってほしいです。

小学校6年生 女子

いつかまた足尾に出かけて行って、自分たちが植えた木がどんなになっているかぜひ見てみたいです。

小学校6年生 女子

何年かかるかわからないけど、いつか足尾の山々に緑がもどることを願っています。

小学校6年生 男子

木を一本植えるのは、思っていたより大変でした。

小学校6年生 女子

昔の写真と比べてみると、今では緑がたくさん生い茂っていてすごいと思いました。

小学校6年生 男子

紙芝居などで砂防の説明をしていただいて、本当にわかりやすかったです。

小学校6年生 男子

こんな大変な作業を長年続けているなんて、すごいと思いました。

小学校6年生 男子

植樹を体験して、やっぱり木は必要なんだと実感しました。

小学校6年生 女子



# お申し込み方法



- 1 お電話にて希望日時をご予約ください。ご予約いただいた方には、こちらから関係書類をお送りします。
- 2 詳細が決まりましたら、こちらから送付した書類に必要事項をご記入の上、内容確認のため足尾砂防出張所までFAXしてください。その後、申請書に代表公印(学校の場合は学校長印)を捺印し、足尾砂防出張所宛てに、実施日の3週間前までにご郵送ください。
- 3 申請書到着後、こちらより体験植樹に関する資料をお送りします。
- 4 当日の植樹作業をスムーズに行うため、お送りした資料を参考に事前学習をお願いします。

## 申請書の様式例

国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 様	平成〇〇年〇〇月〇〇日  〇〇県〇〇市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇										
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">印</span>											
足尾における体験植樹について(申請)											
標記について、下記のとおり貴事務所管内の山林に植樹したいので申請します。 なお、国土交通省が提示した注意事項については同意いたします。											
記											
1. 目的 (具体的に植樹の趣旨を記入してください。)											
2. 日時 平成〇〇年〇〇月〇〇日(日) 〇〇:〇〇から 〇〇:〇〇まで											
3. 場所 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所管内の山林											
4. 申請団体 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">団体名</td> <td>〇〇県〇〇市立〇〇小学校</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>〒 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇</td> </tr> <tr> <td>担当者</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> </table>		団体名	〇〇県〇〇市立〇〇小学校	住所	〒 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	担当者	〇〇〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
団体名	〇〇県〇〇市立〇〇小学校										
住所	〒 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇										
担当者	〇〇〇〇										
電話	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇										
FAX	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇										
※ ゲート開閉の都合上、当日担当者の連絡先(携帯電話など)を必ずご記入下さい。 当日連絡先 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇											
5. 体験者 〇年生、クラス数、生徒〇〇名、職員〇名											
6. 車両台数 大型・中型バス〇台											
7. 内容 苗木〇本植樹											
8. その他 工事用道路の通行に伴い発生した事故、トラブル、損害等に関しては、申請者にて全て責任を持ちます。											

## お申し込み時の注意事項

- 参加者の費用負担は特にございませんが、現地までの交通費、食事等は各自負担でお願いいたします。
- 受付は原則1日2団体となりますので、お早目にご予約ください。
- 事故等について、国土交通省では一切責任を負いません。参加団体各々にて、保険加入等ご検討いただけますようお願いいたします。

## アクセス

### 東北道をご利用の場合…

- 1 岩舟JCT-北関東自動車道-太田桐生IC-国道122号
- 2 宇都宮IC-日光宇都宮道路-清滝IC-国道122号

### 関越道をご利用の場合…

- 1 高崎JCT-北関東自動車道-太田桐生IC-国道122号
- 2 沼田IC-国道120号-国道122号



## お問い合わせ先

国土交通省 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所  
 〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17  
 TEL 0288-93-2151  
 FAX 0288-93-4087



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油を配合したインキで印刷しています。 H19.12